



社会福祉協議会だより

第 39 号

令和2年9月1日 発行
高砂地区社会福祉協議会

発行責任者
遠藤 幸男

令和2年度 高砂地区社会福祉協議会通常総会（書面表決）について

令和2年度高砂地区社会福祉協議会の定期総会を5月13日（水）に予定しておりましたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から評議員の出席による開催に代えて、「令和2年度通常総会」資料を送付の上、書面表決書の各議案への賛否等を記入して頂き、議案の可否については「賛成」が過半数を超えた場合、可決とさせていただきます対応を取りました。

その結果について、以下のとおりご報告いたします。

1. 書面表決の集計結果

送付枚数	回収枚数	回収率
142通	124通	87%

2. 議案への賛成・反対・無効枚数

議 案	賛 成	反 対	無 効
第1号議案 2019年度事業報告	115	3	6
第2号議案 2019年度決算・監査報告	92	24	8
第3号議案 令和2年度事業計画（案）	116	1	7
第4号議案 令和2年度会費納入金額（案）	113	6	5
第5号議案 令和2年度予算（案）	108	8	8
第6号議案 令和2年度役員改選（案）	115	3	6
第7号議案 規約改正（案）	117	2	5
合 計	124通		

3. 議案への結果

全ての議案について、過半数の賛成をもって可決されました。

4. 書面表決に係わる集計結果の監査

回収封筒数及び表決数を確認した結果、上記のとおり相違無いことを証明いたします。

令和2年5月19日

福室新田前町内会長 佐藤 政 司
第三民児協会長 加藤 信 一

たかさご社会福祉協議会だより

「令和2年度通常総会」資料には、議案書に先立ち、冒頭、「評議員として4年以上在籍され退任されました町内会長及び民生・児童委員13名、また、新しく評議員になられました町内会長及び民生・児童委員15名の方々」をご紹介しました。

2019年度 事業報告 (総括)

少子高齢化が加速するなかで多様化する福祉ニーズに対応するため、仙台市をはじめ仙台市社会福祉協議会、宮城野区社会福祉事務所、関係福祉機関、高砂地区町内会連合会及び関係諸団体等との連携を図りつつ活動を推進してまいりました。

高砂地区社会福祉協議会における根幹活動である「小地域福祉ネットワーク活動」において「ふれあいいきいきサロン」、「高齢者への安否確認活動」及び「子育てサロン活動への支援」等を行い、高砂地区における福祉活動を実施してまいりました。

※2019年度 小地域福祉ネットワーク活動実態

- ①「見守り活動」62,440回実施（対象3,738世帯）
- ②「ふれあいいきいきサロン」72回開催（1,622名参加）
- ③「ブロック会議」22回実施

令和2年度 事業計画【基本方針】

1. 高砂地区社会福祉協議会は、仙台市及び仙台市社会福祉協議会並びに高砂地区町内会連合会等との連携を図りながら高砂地区の福祉向上のための活動をする。
2. 高砂地区社会福祉協議会の活動は、高砂地区日本赤十字奉仕団、高砂地区共同募金会及び社会を明るくする運動高砂地区推進委員会との連携・協力を図りつつ、それぞれの事業を推進する。
3. 高砂地区社会福祉協議会の活動は、高砂地区の49町内会と、そこに生活する19,000世帯からの善意の会費から成り立っていることを肝に銘じ、真摯な姿勢で地域福祉に貢献する。

令和2年度 高砂地区社会福祉協議会役員

役 職	氏 名	関 連 役 職 ・ 担 当	備 考	区 分
会 長	遠 藤 幸 男	統括	港南町内会会長	新任
副 会 長	稗 貫 繁	総務担当	栄四丁目町内会会長	新任
	片 桐 勝 二	日赤奉仕団 団長	田子西中央町内会会長	新任
	小 幡 重 一	共同募金会 会長	高砂向田町内会会長	新任
	川 本 幸 子	子育て支援会 会長	第一民児協副会長	留任
	郷 家 勤	社明高砂推進委員会 委員長	保護司	留任
地 域 活 動 推 進 員	千 葉 久 子	小地域福祉ネットワーク活動推進員	第一民児協副会長	新任
	佐 藤 啓 子		第二民児協副会長	留任
	加 藤 信 一		第三民児協会長	留任
会 計	松 田 保 男		福田町町内会会長	新任
理 事	千 葉 均	総務担当	第一民児協会長	新任
	遠 藤 芳 広	日赤担当 日赤副団長	新浜町内会会長	新任
	百 目 鬼 憲 一	共同募金担当 共募副団長	第三民児協副会長	留任
	高 橋 美 枝 子	子育て支援担当	第二民児協主任児童委員	留任
	富 田 吉 明	社明推進委員	第二民児協副会長	留任
監 事	川 名 清		田子西町内会会長	新任
	高 橋 利 昭		仙石町内会会長	新任

各種事業の具体的な進め方

1. 小地域福祉ネットワーク活動

- (1) 高齢者を対象に、安否確認のための「見守り活動」を継続するとともに、地区ごとに「ふれあいいきいきサロン」を開催し、活動の充実を図る。
- (2) ブロック会議を開催し、ブロック内における事業の円滑な活動を図る。
- (3) 福祉委員の資質向上を目的に「福祉委員研修会」を開催する。
- (4) 小地域福祉ネットワーク活動の充実と関係者の相互交流を図るため、全体会議を開催する。
- (5) 地域包括支援センターと連携強化を図りつつ、包括ケア会議及び懇談会等へ参画する。
- (6) 介護予防運動サークルの活動促進を図る。
- (7) 宮城野区障害者自立支援協議会と連携を図り、地域住民との共生社会の形成に努める。
- (8) 関係機関、団体で構築した「河北まごころネットワーク（見守り）」活動との連携を図る。

2. 子育て支援活動

- (1) 子育てサロンの充実を図り、地域で安心して子育てできる環境づくりを目指す。
- (2) サロン活動推進者メンバーの全体会議を開催し、情報を共有化し課題解決を図る。
- (3) 関係機関と連携して推進する。

3. 日赤奉仕団活動

- (1) 災害救援・保健衛生・社会福祉援護などの福祉的支援活動を推進する。
※日赤の役割や活動紹介、献血協力の呼びかけ等の活動に取り組む。
- (2) 高砂地区各市民センターまつりに参加する。
- (3) 奉仕団員研修会を開催する。



4. 共同募金会推進活動

- (1) 宮城県、仙台市共同募金会による助成事業に対し、募集要項を各町内会に配布し助成申請の支援を図る。
- (2) 高砂地区各市民センターまつりにおいて、募金活動を継続するとともに、歳末助け合い事業内容を検討する。

5. 社会を明るくする運動

- (1) 高砂防犯協会と連携し、仙石線駅前（福田町・高砂・中野栄）で街頭宣伝活動を実施する。
- (2) 広報紙「社明みやぎの」の発行に参画する。
- (3) 青少年健全育成講演会に参画する。

高砂地区日赤奉仕団員実技研修会（救急法短期講習会）



小グループに分かれ真剣に救命訓練に取り組む奉仕団員参加者

高砂地区日赤奉仕団員実技研修会を令和元年11月29日（金）高砂市民センター1階大ホールで開催しました。

今回の実技研修内容は、高砂地区49町内会日赤奉仕団員約80名の参加のもと、日本赤十字社宮城県支部から2名の講師を招き、日常生活時に救急救護を要する事態に遭遇し、医師や救急隊員の方々へ引き渡すまでの間に施さなければならない「緊急応急処置法」について学びました。

参加者は4～5名程度の小グループに分かれ、ダミー人形やAEDを使いながら「心肺蘇生法」等を和やかな雰囲気の中で、汗をかきながら真剣に実技に取り組んでおりました。

参加者からは、「今回の研修で学んだ『救急法』は緊急事態に遭遇した時に冷静に対応する必要があるので何回も実技研修を行い身に付けたい」等の声が多くありました。

新任役員（会長・副会長・会計）あいさつ

会長 遠藤 幸男

この度、高砂地区社会福祉協議会会長を受けました港南町内会の遠藤と申します。

高砂地区社会福祉協議会は、「高砂地区日本赤十字奉仕団」・「高砂地区共同募金会」・「社会を明るくする運動高砂地区推進委員会」及び「高砂地区子育て支援会」が共通の目的達成のため「高砂社協」として、協力して活動している組織です。今は、新型コロナウイルス感染防止策のため各種の事業を自粛しておりますが、日頃行政が行き届かないところにささやかな手助けをするのが「社会福祉協議会」です。

高砂地区の子供達やお年寄りの皆様に「安心と安全と安らぎ」をお届けするため、微力ながら努力して参りますので、会員皆様方のご理解とご協力をお願い申し上げます。

副会長 総務担当 稗 貫 繁

総務担当の副会長になりました稗貫と申します。

少子高齢化を迎え、小地域福祉ネットワーク活動が益々大事な取り組みになります。高砂地区の更なる充実に向け活動を推進する所存でございます。皆様のご支援をお願い申し上げます。

副会長 日赤奉仕団团长 片 桐 勝 二

日赤奉仕団团长に就任しました片桐と申します。

この度の業務の遂行に当たり、遠藤会長を始め、他の役員の方々のご協力とご指導を頂きながら業務を進めて参りますので、宜しく願い申し上げます。

副会長 共同募金会会長 小 幡 重 一

共同募金会会長に就任しました小幡と申します。

共同募金会は、「赤い羽根募金」や「イベント募金」等で募金活動を行い、小地域福祉ネットワーク活動や歳末助け合い事業、また災害ボランティアに係る事業を行っております。皆様のご理解とご協力をお願いします。

会計 松 田 保 男

今年度会計担当になりました松田です。

高砂社協が危機的状況の中で問題の役職を受けることは、大変な重圧ではありますが、皆様のご協力を頂きながら任務を全うし遠藤会長の下、社協の信頼回復と再出発に尽力したいと思います。宜しく願い申し上げます。

編 集

毎年のように発生する集中豪雨やコロナ第2波の発生ように、高砂地区社協は二度と不祥事を起こしてはなりません。新体制で地域の社会福祉活動を真摯に取組み、会員皆様のご期待に沿える社協に生まれ変わります。

後 記

副会長総務担当 稗 貫 繁